

2024年度 11月1日発行
 社会福祉法人尚徳福祉会
 保育園与那原ベアーズ1

夏の暑さもすっかり和らぎ、過ごしやすい季節になりましたね。戸外活動を楽しむ子どもたちの元気な姿が見られます。一方で、寒暖差から体調を崩してしまう子どもも見られます。手洗い・うがい、早寝早起き、食事をしっかり摂るなどの体づくりを行って、体調管理をしていきましょう！

《先月の感染症情報》

頭シラミ・・・1名
 インフルエンザ・1名

内科健診と尿検査のお知らせ

内科健診：11月14日（木）10時～
 尿検査：11月12（火）・13（水）
 登園時～9時半まで（2日間）

- * 健診当日は、なるべく登園をおねがいします。お休みで健診を受けられない園児は、後日、保護者の方により太田小児科へ受診していただきます。
- * 尿検査は、提出日の早朝に、ご家庭で採取してください。提出が間に合わなかった場合、1週間以内に、保護者の方により健康づくり財団へ提出をおねがいします。



11月8日は、いい歯




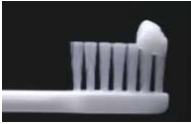
子どものむし歯は、経年的に減少傾向にあります。が、他の疾患に比べて罹患率は高く、また、沖縄県は12歳児（一人平均）における永久歯のむし歯数が全国ワースト1位です。

むし歯の原因には細菌（プラーク）・糖分・歯質の3因子があり、それぞれに対応が必要になります。細菌には歯みがきによるプラーク除去、糖分には食生活の配慮、歯質にはフッ化物応用が効果的な対応としてあげられます。むし歯予防のフッ化物応用は75年以上の歴史で安全性と有効性が繰り返し確認されています。日本小児歯科学会を含む4学会合同のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法について、一部を下記に記載しましたので参考にしてください！6歳～成人や詳細を知りたい方は

<https://www.jspd.or.jp/recommendation/article19> をご参照ください。

また、今年度の後期の歯科健診は12月5日（木）となっています。

日本小児歯科学会等4学会合同のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法

年齢	使用量(写真は約2cmの歯ブラシ)	フッ化物濃度	使用方法
歯が生えてから2歳	 米粒程度(1～2mm程度)	1000ppmF(日本の製品を踏まえ900～1000ppmJF)	<ul style="list-style-type: none"> ・1000ppmFの歯磨剤をごく少量使用する。歯みがき後にティッシュなどで歯磨剤を軽く拭き取っても良い。 ・歯磨剤は子どもの手が届かない所に保管する。 ・歯みがきについて専門家のアドバイスを受ける。
3～5歳	 グリーンピース程度(5mm程度)	1000ppmF(日本の製品を踏まえ900～1001ppmJF)	<ul style="list-style-type: none"> ・就寝前を含めて1日2回の歯みがきを行う。 ・歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。うがいをする場合は少量の水で1回のみとする。 ・子どもが歯ブラシに適切な量をつけられない場合は、保護者が歯磨剤を出す。